

2018 年度 環境活動レポート

(対象期間： 2018年4月1日～2019年3月31日)



作成日： 2019年5月15日
更新日：

ほくたんハイトラスト株式会社

目 次

1	環境方針	・・・ P 1
2	会社の概要	・・・ P 2
3	認証・登録の対象組織・活動	・・・ P 2
4	事業概要	・・・ P 3
5	施設概要	・・・ P 3
6	実施体制図	・・・ P 5
7	役割・責任・権限表	・・・ P 5
8	受託した一般廃棄物の処理実績	・・・ P 6
9	環境目標と活動実績	・・・ P 7
10	環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組	・・・ P 9
11	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並び に違反、訴訟等の有無	・・・ P 10
12	緊急事態対応訓練	・・・ P 10
13	代表者による全体の評価と見直し	・・・ P 11
14	環境活動の紹介	・・・ P 12

環境方針

<環境経営理念>

【基本理念】

ほくたんハイトラスト株式会社は、豊岡市、香美町、新温泉町の3市町から構成される北但行政事務組合が、「PFI」法に準じ、DBO（Design：設計，Build：建設，Operate：運営）方式により実施した「北但ごみ処理施設整備・運営事業」の運営事業会社として、2013年9月4日、株式会社タクマ、株式会社タクマテクノスの出資により設立された特別目的会社（SPC）です。

この事業の遂行にあたっては、株式会社タクマの社是「人を大切に、地球を大切に、技術を大切に」および、本事業の基本方針である「環境保全・公害防止対策に万全な施設」「確実・安全・安定的に処理できる施設」「廃棄物の資源化を図り、循環型社会の形成に資する施設」「周辺環境と調和した施設」「住民から信頼される施設」「経済性に優れた施設」に従った事業活動の展開に努めます。

<環境保全への行動指針>

1. 当社の経営理念に基づき、運営維持管理業務の遂行にあたっては、下記に示す活動項目と目標を設定し、その達成に努めます。
 - I 二酸化炭素排出量の削減及びエネルギー回収効率の向上の推進
 - II 廃棄物排出量の削減及びリサイクル率の向上
 - III 水使用量の削減
 - IV 化学物質の使用量削減および適正管理
 - V グリーン購入の推進
 - VI 環境配慮の推進
2. 適用される環境関連法規および豊岡市・香美町・新温泉町など行政からの環境に関わる指示事項を遵守します。
3. 環境方針は全従業員に周知徹底し、一般にも公開します。

制定日： 2017年7月11日

改定日：

代表取締役社長 田中 大介

② 会社の概要



- 1 名称及び代表者名
ほくたんハイトラスト株式会社
代表取締役社長 田中 大介
- 2 所在地
〒669-6331
兵庫県豊岡市竹野町坊岡943
クリーンパーク北但内
- 3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 : 川崎 洋 TEL : 0796-21-9111
コミュニケーション窓口 : 芦田 伸男 FAX : 0796-21-9112
メールアドレス : info@hokutan-ht.com
- 4 事業内容
一般廃棄物処理施設の運営・維持管理業務
(豊岡市、香美町、新温泉町との廃棄物処理施設運営業務委託契約につき廃棄物処理業
許可不要(委託期間:2016年8月~2036年7月))
- 5 事業の規模
法人設立 2016年8月1日
資本金 30,000 万円
売上高 売上高区分A:5億円未満
従業員 57 名
延床面積 15,902 m²
敷地面積 約36.6 ha
山林面積 約2.6 ha
- 6 株主
株式会社 タクマ 株式会社 タクマテクノス
- 7 事業期間
2016年8月1日から2036年7月31日(20年間)

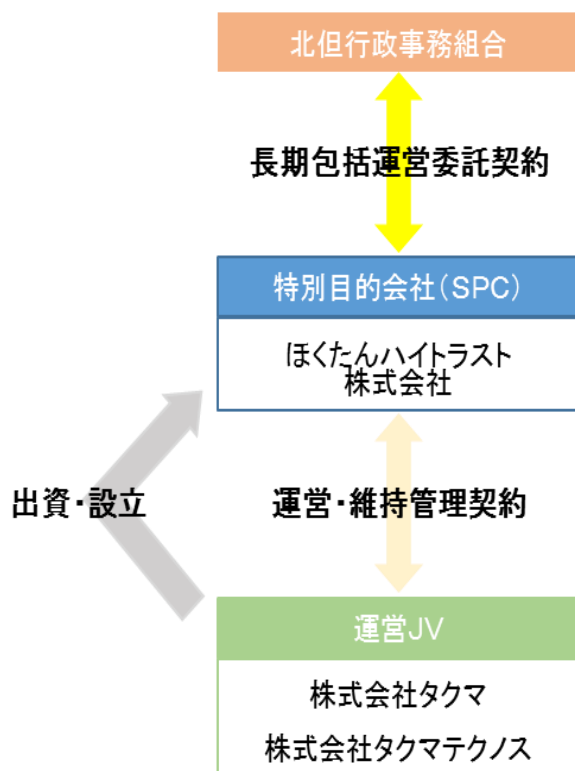
③ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : ほくたんハイトラスト株式会社
対象事業所 : クリーンパーク北但内事業所
活動 : 一般廃棄物処理施設の運営・維持管理業務

④ 事業概要

北但行政事務組合が発注する「北但ごみ処理施設整備・運営事業」をタクマグループ（株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス）が受託したことに伴い、施設の運営維持管理業務等を実施する特別目的会社（SPC）として、弊社ほくたんハイトラスト株式会社は設立されました。

本事業は、一般廃棄物処理施設であるクリーンパーク北但の運転、ユーティリティの確保、日常点検、定期点検、部品等の調査、補修等の運営維持管理を、2016年8月1日から2036年7月31日までの20年間にわたり実施するものです。



特別目的会社（SPC:Special Purpose Company）とは

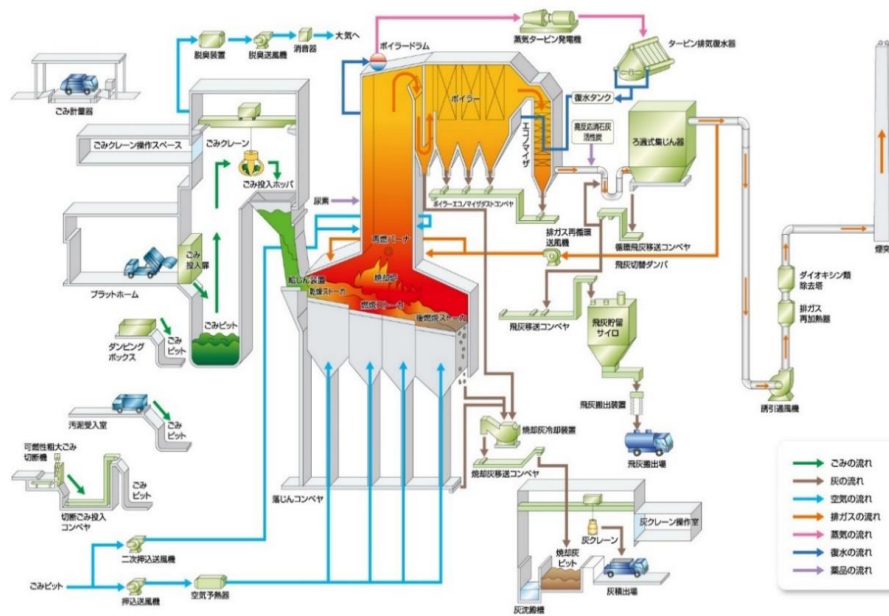
事業の独立性の確保を目的に特別目的会社（SPC）を設立することで、出資者等の破綻等が生じた場合でも事業の実施に影響を受けない体制を構築することが可能です。

本事業でほくたんハイトラスト(株)が特別目的会社（SPC）となり、20年間の運営維持管理を行います。

⑤ 施設概要

施設名称	: クリーンパーク北但
処理対象物	: 一般廃棄物
焼却炉形式	: 全連続燃焼式焼却炉（ストーカ炉）
施設規模	: クリーンセンター71 t / 日・炉×2炉（24時間運転） : リサイクルセンター19 t / 日（5時間運転）
余熱利用設備	: 蒸気タービン発電機（発電機：2850kW）

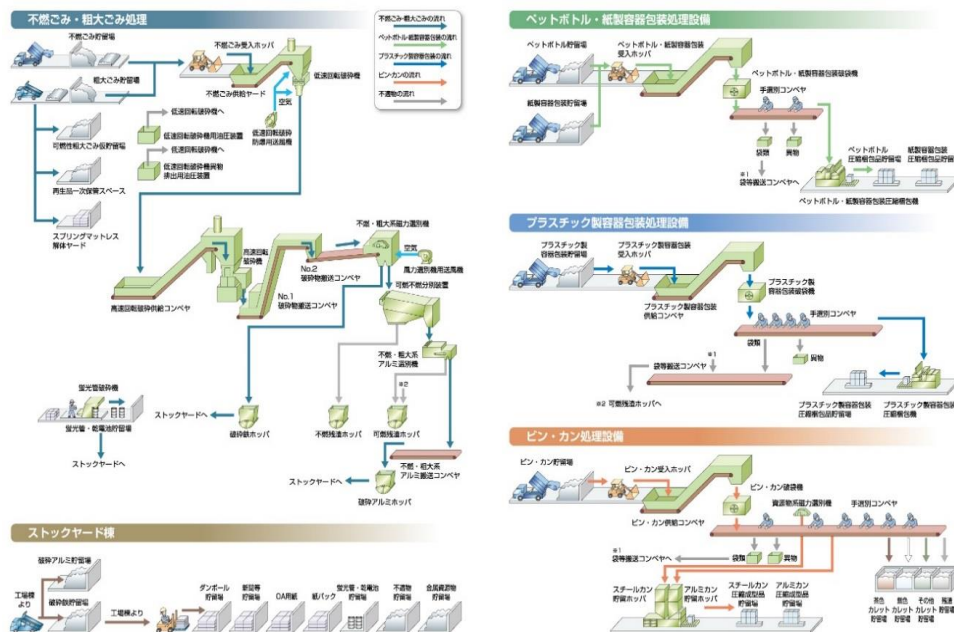
○クリーンセンター処理フロー



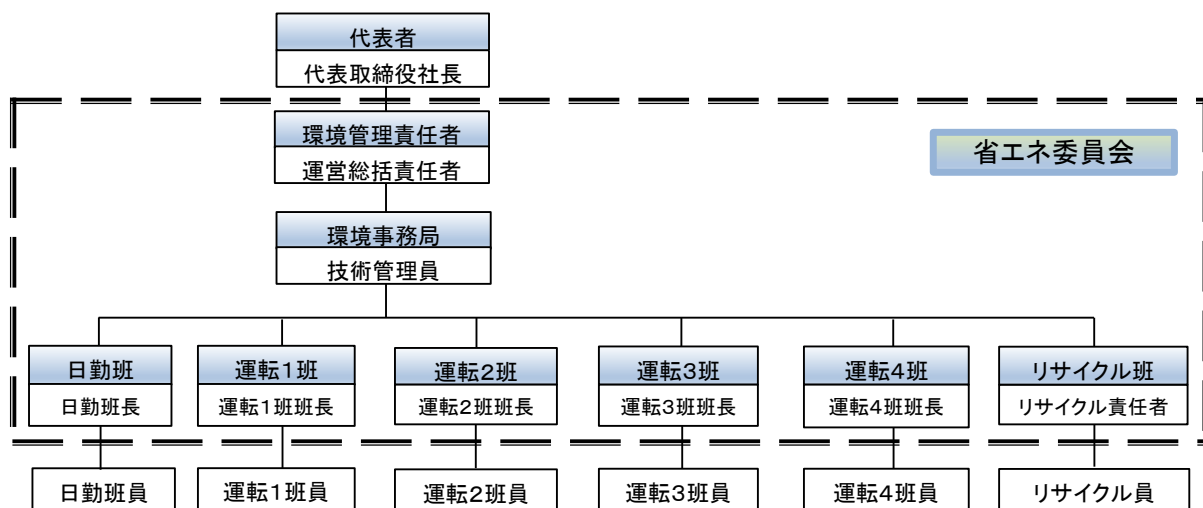
○排ガス規制値

項目	要求水準値	自主保証値
ばいじん	0.01g/m ³ N	0.005g/m ³ N
塩化水素	50ppm	40ppm
窒素酸化物	50ppm	45ppm
硫黄酸化物	30ppm	28ppm
一酸化炭素(4h平均)	30ppm	25ppm
ダイオキシン類	0.05ng-TEQ/m ³ N	0.03ng-TEQ/m ³ N
水銀	—	0.05mg/m ³ N

○リサイクルセンター処理フロー



⑥ 実施体制図



⑦ 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境目標・環境活動計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 (運営統括責任者)	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境目標・環境活動計画書の提案 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境活動レポートの確認
環境事務局 (技術管理員)	- 環境管理責任者の補佐、各班の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境目標、環境活動計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境活動レポートの作成、公開（ホームページ公開と地域事務局への送付）
#REF!	- 環境活動計画の審議 - 環境活動実績の確認・評価 - 各班における環境方針の周知 - 各班の班員に対する教育訓練の実施 - 各班に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 各班に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 各班の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 各班の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

⑧ 受託した一般廃棄物の処理実績(2018年4月～2019年3月)

処理方法等		一般廃棄物等種類	処分方法等	受入/処理量 (t)
廃棄物 受入量	可燃ごみ		焼 却	38,440
	不燃・粗大・資 源ごみ	不燃ごみ	再資源化	1,234
		粗大ごみ	再資源化	1,054
		ビン・カン	再資源化	723
		ペットボトル	再資源化	130
		紙製容器包装	再資源化	142
		プラ容器包装	再資源化	503
		蛍光管	再資源化	3
		乾電池類	再資源化	6
	不燃、粗大、資源ごみ等小計			3,796
廃棄物受入量合計			42,236	
廃棄物 処理量	可燃ごみ等の焼却による燃焼ガス化		大気中に放出	35,116
	最終処分	焼却灰	埋立処分	3,848
		不燃残渣	埋立処分	752
		カレット残渣	埋立処分	136
		最終処分量小計		
	再資源化	飛 灰	セメントリサイクル	486
		破碎鉄	再資源化	482
		破碎アルミ	再資源化	62
		茶カレット	再資源化	170
		無色カレット	再資源化	185
		その他カレット	再資源化	85
		スチール缶圧縮成形品	再資源化	83
		アルミ缶圧縮成形品	再資源化	84
		ペットボトル圧縮梱包品	再資源化	106
		紙製容器包装圧縮梱包品	再資源化	120
		プラ製容器包装圧縮包装品	再資源化	404
		新聞・雑誌等	再資源化	23
		段ボール	再資源化	18
		蛍光管	再資源化	13
		乾電池類	再資源化	3
		その他排出物	再資源化	0
		雑金属類	再資源化	63
		再資源化量小計		
中間処理後処分量合計			42,236	

⑨ 環境目標と活動実績

9.1 中期環境目標

項 目		単位	基準年度実績	年度目標		
			2016年	2018年	2019年	2020年
I	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	578, 316	575, 425	574, 268	572, 533
	購入電力量の削減 (CO2排出係数 0.509) ※1	kWh	129, 000	128, 355	128, 097	127, 710
		kg-CO2	65, 661	65, 333	65, 201	65, 004
	灯油使用量の削減	L	192, 395	191, 433	191, 049	190, 471
		kg-CO2	479, 436	477, 038	476, 080	474, 641
	ガソリン使用量の削減	L	907	903	901	898
		kg-CO2	2, 106	2, 096	2, 092	2, 085
	軽油使用量の削減	L	11, 856	11, 796	11, 773	11, 737
		kg-CO2	31, 113	30, 958	30, 896	30, 802
	売電電力量の管理・向上	kWh	11, 209, 833	11, 265, 882	11, 299, 511	11, 321, 931
	ごみ発電量の向上	kWh	16, 711, 214	16, 794, 770	16, 844, 904	16, 878, 326
	消費電力量の削減	kWh	5, 427, 636	5, 400, 497	5, 389, 642	5, 373, 359
太陽光発電性能の維持	kWh	7, 225	7, 225	7, 225	7, 225	
II	事業所廃棄物量の削減	kg	759	751	749	747
III	上水使用量の削減	m³	2, 528	2, 515	2, 510	2, 502
IV	消石灰使用量の削減	kg	171, 613	170, 755	170, 412	169, 897
	尿素使用量の削減	L	11, 088	11, 032	11, 010	10, 977
V	グリーン購入の推進	件	10	12	12	12
VI	受入ごみのリサイクル率向上	%	32. 4	32. 6	32. 7	32. 7
	環境貢献活動	回	12	12	12	12

※二酸化炭素排出係数0.509 kg-CO2/kWh（関西電力実排出係数 2015年）

※本事業は2016年8月より開始した為、基準年度実績に含まれる4月から7月の実績は概算値を入力

※購入電力量は、消費電力量の内数となり、ごみ発電を停止する整備期間（年間10日程度）のみ発生

9.2 2018年4月から2019年3月 環境目標及びその実績

項 目		単位	目標値	実績	評価	達成率
I	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	575, 425	216, 194	○	266%
	購入電力量の削減 (CO2排出係数 0.509) ※1	kWh	128, 355	84, 440	○	152%
		kg-CO2	65, 333	42, 980		
	灯油使用量の削減	L	191, 433	56, 482	○	339%
		kg-CO2	477, 038	140, 749		
	ガソリン使用量の削減	L	903	981	×	92%
		kg-CO2	2, 096	2, 277		
	軽油使用量の削減	L	11, 796	11, 503	○	103%
		kg-CO2	30, 958	30, 188		
	売電電力量の管理・向上	kWh	11, 265, 882	13, 002, 100	○	115%
II	事業所廃棄物量の削減	kg	751	651	○	115%
III	上水使用量の削減	m ³	2, 515	1, 781	○	141%
IV	消石灰使用量の削減	kg	170, 755	181, 119	×	94%
	尿素使用量の削減	L	11, 032	10, 390	○	106%
V	グリーン購入の推進	件	12	25	○	208%
VI	受入ごみのリサイクル率向上	%	32. 6	33. 5	○	103%
	環境貢献活動	回	12	12	○	100%

⑩ 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
二酸化炭素総排出量の削減		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・購入電力量の削減	◎	次年度も達成できるよう、取り組みを継続します。
・灯油使用量の削減	◎	
購入電力の削減		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・適正空調温度の注意喚起	◎	次年度も達成できるよう、共通休炉時の消費電力量の削減に努めます。
・不要機器・照明の電源オフ徹底	○	
灯油使用量の削減		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・立上げ、立下げ手順の効率化	◎	次年度も達成できるよう、灯油使用量の削減の取り組みを継続して実施します。
・定常運転時の助燃抑制	◎	
ガソリン使用量の削減		
数値目標	×	年間で未達成となりました。
急加速・急発進の禁止	△	次年度は年間を通じて達成できるよう、エコドライブに努めます。また、燃費(km/L)を指標とした評価を実施いたします。
軽油使用量の削減		
数値目標	○	冬季の除雪作業回数が減少したため年間で達成となりました。
急加速・急発進の禁止	△	次年度も達成できるよう努めますが、今年度よりも除雪作業が増えた場合、達成は困難と思われます。
売電電力量の管理・向上		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・運転計画の策定及び見直し	○	次年度も年間を通じた結果が達成となるよう安定操業に努めます。
・焼却炉の安定稼働	◎	
ごみ発電量の向上		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・運転計画の策定及び見直し	○	次年度も年間を通じた結果が達成となるよう安定操業に努めます。
・焼却炉の安定稼働	◎	
消費電力量の削減		
数値目標	×	年間で未達成となりました。
・不要機器・照明の電源オフ徹底	△	次年度は達成出来るよう、不要機器、不使用照明の電源オフに努めます。
太陽光発電量の維持		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・太陽光パネルの適宜清掃	○	次年度も適切な維持管理を行い、達成できるよう努めます。
廃棄物排出量の削減		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・詰め替え容器の使用推進表示	◎	次年度も廃棄物排出量の削減の取り組みを継続し、目標を達成できるよう努めます。
上水使用量の削減		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・節水の注意喚起	○	次年度も節水の取り組みを継続し、目標を達成できるよう努めます。
消石灰の使用量削減		
数値目標	×	年間で未達成となりました。
・排ガスの適正管理	◎	次年度も排ガス基準値の遵守を第1に考えながら、出来る限り削減できるよう努めます。
・過剰吹込みの抑制	△	
尿素使用量の削減		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・排ガスの適正管理	◎	次年度も継続して削減に努めます。
・過剰吹込みの抑制	◎	
グリーン購入の推進		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・事務用品グリーン購入比率向上	◎	次年度もグリーン製品の購入に努めます。
受入ごみのリサイクル率の向上		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・残渣の削減	◎	次年度も継続してリサイクル率の維持に努めます。
環境貢献活動		
数値目標	○	年間で達成となりました。
・進入道路周辺清掃及び、不法投棄パトロール	◎	次年度も進入道路周辺の清掃、不法投棄パトロールを毎月実施します。

⑪ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	・適切な処理の遵守	遵守
騒音規制法	・地域別騒音基準の遵守	遵守
振動規制法	・地域別振動基準の遵守	遵守
水質汚濁防止法	・排出基準の遵守	遵守
大気汚染防止法	・排出基準の遵守	遵守
悪臭防止法	・規制地域内で、特定悪臭物質の排出基準を遵守	遵守
フロン排出抑制法	対象；第1種特定機器 ・簡易点検（すべて 1 回/3ヶ月以上） ・有資格者による定期点検 空調機器（7.5kW以上1回/3年以上、 50kW以上1回/年以上） 冷蔵冷凍機器（7.5kW以上 1回/年以上） ・点検記録の保存（廃棄まで）	遵守
消防法	・危険物製造・貯蔵・取扱の指定数量以上の許可申請 ・製造所等の危険物保安監督者の届出 ・指定可燃物の扱い	遵守
グリーン購入法	・できる限り環境物品等を選択するよう努める	遵守

その結果、環境関連法規等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等ありませんでした。

⑫ 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：火災	
■実施日：2019/1/30	■実施場所：クリーンパーク北但内事業所
■参加者：クリーンセンター直班・日勤班 リサイクルセンター従業員	■実施内容： 総合訓練
■評価： 通報、消火、避難手順を確認し、スムーズに訓練をすることが出来ました。	
■実施状況の様子  通報訓練  消火訓練 	

⑬ 代表者による全体の評価と見直し

【前回の指示への取組結果】		
<情 報> ◇環境方針 変更の必要なし		<見直し・指示> ◇環境方針 変更の必要なし
◇環境目標・活動計画の達成状況 2018年度の達成状況は、ガソリン使用量の削減、消費電力量の削減、及び消石灰使用量の削減の3項目について未達成でありましたが、その他の13項目については目標を達成することが出来ました。	➡	◇環境目標・活動計画 ガソリン使用量の削減については、エコドライブを心掛けること。消費電力量の削減については、不要機器・不使用照明の電源オフに努めること。消石灰使用量の削減については、排ガス基準値の遵守を第1に考え、出来る限り削減できるよう努めること。
◇その他 地域貢献活動への参加が、一部のメンバーに偏る傾向が認められた。		◇その他 地域貢献活動については一部のメンバーに偏らず、職場全体で取り組み、目的意識の共有化を図ること。
【今回の評価結果と今後の経営視点】 ・エコアクション21環境マネジメントシステムの運用から2年が経過し、灯油や電力といった目に見えるものの削減はある程度達成できています。現在、燃焼に伴う薬品（消石灰、尿素）の使用量の削減に様々なアイデアを出し、取り組んでいるところです。本年度の各種数値を新たな基準年度とし次年度に継続できる取り組みを期待します。		

⑭ 環境活動の紹介

「省エネ委員会」



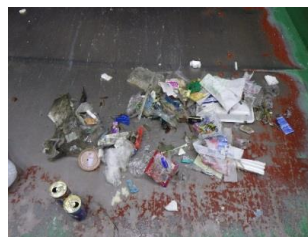
毎月省エネに関して意見交換及び実績、アイディア抽出等の報告・検討会を開催しています。

「省エネ活動の結果の見える化」



電力や、灯油等をグラフ化したものを従業員が通行するところに掲示して「省エネ活動の結果の見える化」を実施しています。

「進入道路の清掃及び、不法投棄パトロール」



毎月1回、施設内の進入道路の清掃を行い、美化に努めています。

「地元見学会兼避難所生活体験」



森本・坊岡地区の住民を対象に、見学会兼避難所生活体験を実施しました。

「森本・坊岡地区の変装盆踊りへの参加」



森本・坊岡地区の変装盆踊りに参加予定でしたが、台風の接近により中止となりました。

「従業員全体懇親会」



地元の大宴会場にて全体の懇親会を開催しました。約50人の大人数でもあり大変盛り上がりました。

ほくたんハイトラスト株式会社